

呼吸器外科手術における後方視的検討のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 6 月 30 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 「呼吸器外科手術における後方視的検討

〔研究目的〕 呼吸器外科手術を後ろ向きに観察研究し、呼吸器外科手術の合併症や予後に及ぼす因子を探索し、適切な術式の選択の資とします。

〔研究意義〕 呼吸器外科手術を後ろ向きに観察研究することで、呼吸器外科手術における周術期合併症や予後に及ぼす臨床因子、画像所見、術式、周術期管理、病理診断、術後補助療法等の各種因子が示唆され、呼吸器外科手術の適応や適切な術式の選択の資となり、患者の負担が少ない治療法の確立への一歩となります。

〔対象・研究方法〕 呼吸器外科において2008年から2016年までに呼吸器外科手術を施行（手術台帳に登録）した1441例を対象とし、周術期合併症や予後に及ぼす臨床因子、画像所見、術式、周術期管理、病理診断、術後補助療法等の各種因子を後方視的に検索します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報保護のため、臨床情報は個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日、電話番号など)を削除し、独自の記号を記し匿名化情報として、個人情報管理者(川村雅文)のもとで管理されます。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究分担者： 松谷哲行 帝京大学医学部外科学講座 准教授

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7690〕